鉾田普及センター情報

寒さが厳しくなってきましたね。 風邪をひかないよう、体調管理に気を付けましょう。 第64号 令和3年12月20日

発行: 鹿行農林事務所 経営·普及部門

(鉾田地域農業改良普及センター)

TEL:0291(33)6193

FAX:0291(33)6725

ピーマン専門講座を開催しました!

11月17日(水)、鹿南地域のピーマン若手生産者を対象に「令和3年度第1回ピーマン専門講座」を開催し、24名が参加しました。今回は、ネポン(株)より「暖房機のメンテナンス方法について」、



鹿島地帯特産指導所より「ピーマンの垣根仕立て栽培試験の状況について」、普及センターより「農業版BCP(事業継続計画書)の作成について」という3つの講義を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を3班に分け、それぞれの講義をローテーションする形で講座を開催しました。参加者からはたくさんの質問が出され、活発な情報交換が行われていました。今後もピーマン栽培の役に立つ講座を開催予定です。興味のある方は、普及センターまでお問い合わせください。

農業学園第5回講座(土づくり・病害虫の基礎)を開催しました!

11月5日(金)、「鉾田地域農業学園第5回講座」を鉾田合同庁舎内で開催し、8名の新規就農者

等が参加しました。土づくりの講座では、作物ごとの適正pHや塩基組成の 適正バランス等について説明しました。病害虫の講座では、発生している病 害虫の種類の判断のポイントや、農薬検索アプリ等について説明しました。

講座終了後のアンケートでは、「pHの大切さが良く分かった。病害虫の 予防も参考になった。」等の感想があり、有意義な講座となりました。今後 は、鉾田地域農村青少年プロジェクト実績発表会見学等を予定しております。



鉾田市4Hクラブが水戸市商工祭に出店しました!

11月20日(土)、鉾田市4Hクラブが、リリーアリーナMITO(水戸市青柳公園体育館)で行われた第46回水戸市商工祭「秋の商エマルシェ」に出店し、消費者と交流しました。



当日は、クラブ員が栽培した野菜を景品にした野菜のくじ引き販売と、4 Hクラブが共同で栽培したカンショを使用した焼き芋販売を行いました。

クラブ員からは「コロナ禍のため様々な行事が中止になっているが、水戸 市商工祭に参加したことで、鉾田市4HクラブのPRができてよかった。」 との声が聞かれるなど、充実した活動となりました。鉾田市4Hクラブはメ ンバーを募集中です。興味のある方は、普及センターまでご連絡ください。

鉾田市「株式会社伊藤農園. F」が全国優良経営体 農林水産大臣賞を受賞されました!

県農業経営士の伊藤健さんが代表を務める(株)伊藤農園.Fが令和3年度全国優良経営体担い手づくり部門で農林水産大臣賞を受賞され、11月18日(木)に開催された「第23回全国農業担い手サミットin茨城」にて表彰されました。伊藤さんは、トマト栽培技術の習得支援をはじめ、就農時のほ場の選択のサポート、就農後の巡回指導や経営へのアドバイス、ハウス建設や販売面での支援など、就農相談から就農後までの一貫した支援体制を構築されておられます。このような取組により、担い手の育成に尽力されたことが評価され、今回受賞されました。誠におめでとうございます。

農業用ハウスの強靭化に取り組みましょう!



近年、農業用ハウスに甚大な被害を与える自然災害が多発していることから、農業経営の安定化のため、県では、風速36m/s以上に耐えられる強度のハウス(「強靭化ハウス」)の整備を推進しています。

これに伴い、県では今後、農業用ハウスの新設や再建等にあたって、補助の対象を「強靭化ハウス」に限定して支援していくこととしております。

農業用ハウスの補強対策や保守管理等については「茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル(令和3年9月改訂)」にまとめております。右のQRコードからマニュアル詳細版へアクセスできますので、ぜひご活用ください。

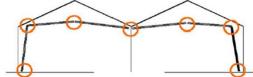
「マニュアル詳細版」 へのアクセスは こちらから



ハウスの隙間にご用心!

重油の値段が高くなっています。気温が最も低下する時期ですから、被覆資材等に隙間やゆるみ、破れ などがないか改めて点検し、保温効果を高めましょう。

- ①外張被覆や天窓、出入口付近の被覆に破れや 隙間はありませんか。
- ②使用しない出入口に目張りはしてありますか。
- ③被覆資材の留具にゆるみはありませんか。
- ④内張カーテンに隙間はできていませんか。



内張カーテンにおいて隙間ができやすい部分 農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル」より

貯蔵期~育苗期のサツマイモ基腐病対策について

12月現在、鉾田市・鹿嶋市・神栖市でのサツマイモ基腐病の発生は確認されておりませんが、引き続き注意が必要です。貯蔵中のイモは月に1回程度、異常がないかを確認し、疑わしい症状のイモを見つけた場合はそのイモを貯蔵しているコンテナを隔離し、普及センターまでご連絡ください。

また、今後も病気を発生させないため、次作に向けた対策を実施しましょう。

~対策~

- 〇収穫後のほ場は、残さが細かく粉砕されるよう丁寧に耕うんしてください。
- 〇ほ場に停滞水が生じないよう、<u>排水対策</u>を行ってください。
- ○苗増殖はできるだけ<u>ウイルスフリー苗</u>を用いてください。

種イモで増殖する場合は、病害の発生していないほ場から収穫したイモのみを使用してください。

→種イモとして使用するイモの栽培履歴は記録に残してください。



なり首側から塊根腐敗

写真出典:生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C) 令和2年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」 https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138589.html

県オリジナル品種 「イバラキング」・「いばらキッス」を作りませんか?

メロン【イバラキング】の種子・イチゴ【いばらキッス】の親株購入の申込みを行っています。

生産・販売においては、栽培マニュアルに準じて栽培することや、出荷資材には品種名を明記すること等が必要です。また、「いばらキッス」はJA部会または県いちご経営研究会に加盟することが条件です。

興味のある方は、担当者にお問い合わせください。(メロン:三輪、イチゴ:佐藤)



〇イバラキング:上品な香りと甘さ、なめらかな口当たりが特長(注文:1/31〆)

○いばらキッス:甘くてジューシーな味が特長(注文:1/31〆)

